

同月六日 元京都帝国大学書記大友春松は本校書記に任命される。

同月八日より十二月六日まで東京高等工芸学校教授築島棟吉は図画師範科の機械に関する臨時講義を嘱託される。

十二月十八日 教授多賀谷健吉、同北村西望、同南薫造は生徒主事兼任を命ぜられる。

同月二十七日 講師羽野禎三は助教授に任命される(図案部勤務)。

② 卒業式

昭和十六年三月二十四日、第五十回卒業証書授与式が行われ、同日より三日間、校内で卒業制作品陳列会が開かれた。左記はその記録文書の抜粋である。

第五十回卒業証書授与式次第 (三月二十四日)

- 一、新卒業生入場著席 (午前十一時)
- 二、職員、参列舊卒業生著席 (第一號 講堂北ロヨリ出入 第二號 講堂東ロヨリ出入 第三號 講堂東ロヨリ出入)
- 三、來賓著席
- 四、宮城遙拜、靖國神社遙拜、出征將士ノ武運長久ヲ祈ル
- 五、君ケ代
- 六、卒業證書及賞品授與
- 七、學校長式辭 (卒業生前後敬禮)
- 八、文部大臣祝辭 (卒業生前後敬禮)
- 九、卒業生總代答辭

一〇、校歌

一一、式終了挨拶

一二、來賓、職員、舊卒業生、新卒業生順次退場

附

- 一、退場後、來賓、舊卒業生ハ休憩所ニテ休憩ノ事
- 二、退場後、職員、新卒業生ハ直ニ寫眞場へ集合ノ事
- 三、式ノ前後ニ於テ卒業生製作品隨意觀覽

卒業生科別人員

科名	本科	選科	特別學生	計
日本畫科	一六	〇	〇	一六
油畫科	三六	〇	〇	三六
彫刻科	一四	〇	〇	一四
木彫部	五	〇	〇	五
圖案部	一一	〇	〇	一一
彫金部	五	〇	〇	五
鍛金部	二	〇	〇	二
鑄金部	三	〇	〇	三
漆工部	五	〇	〇	五
建築科	七	〇	〇	七
圖畫師範科	一三	〇	〇	一三
合計	一一七	〇	〇	一一七

卒業生姓名卒業製作目録 (席次いろは順)

姉の像	同	北岡文雄	白衣	同	本間敏之
少女坐像	同	三橋三郎	若い女	同	川瀬永治
室内像	同	白澤龍生	壁面彫刻	同	各務満
F、K氏像	同	篠窪亮	働く人	同	立川義明
坐像	同	廣江靜致	工藝科		
彫刻科		關口孝次	圖案部		
塑造部			興亞記念館休憩室 壁面裝飾レリーフ(建設へ)	本科	岩本敏郎
トルソ	本科	黄清埕	新體制下若き女性を主體とせる服飾綜合計畫	同	石井輝夫
夜明け	同	堤達男	音楽室の爲めの障壁畫(誕生)	同	堂前俊雄
丘の上	同	津村邦雄	近代工藝の變遷と主潮(主として工藝教育に對する參考として圖表的表現せる一提案)	同	米田重博
佇む女	同	松村禮一	圖案研究新秩序	同	吉川正己
鐵木眞(成吉斯汗)法勝寺塔影	同	松下隆治	少年期思慕詩篇(春夏秋冬)	同	田村耕一
裸婦	同	益田信行	都市拔萃	同	田澤武美
人、六兵衛さん	同	國領辰彌	基礎研究(自然連作) 人體連作	同	藤本能道
立像	同	小寺昌三	東亞藝能會館壁面裝飾畫	同	小泉正名
首像	同	秋元喜義	各種輸出工藝品圖案	同	白井正孝
女立像	同	齋藤傳一郎	濃彩色描き繪映畫臺本(井戸の蛙)	同	最上忠敬
モンペの女	同	里内直次	彫金部		
日向葵の幻想、BEETHOVEN像	同	北古賀一郎	壁面裝飾(日本古代模様)	本科	花摘幹夫
裸婦立像	同	金鐘瑛	擴聲器を持つ壁面裝飾	同	渡邊泰造
或る舞踊研究生	同	滿生茂夫	衝立(梅)	同	永廣四郎
木彫部			香爐(銀四分一)	同	遠藤銈司
臺灣の男	本科	范德煥	額面(鷹)	同	新井隆二
			鍛金部		

